（1面からつづく）

い、患者さんの笑顔がたくさん見られるように応援していきたいです。よろしくお願いします。

理学療法士　伊東美里

皆様のお役に立てるよう、日々勉強や業務を頑張ってまいります。一日でも早く一人前になれるように努力していくので、よろしくお願いします。

理学療法士　小杉友哉

入職の動機は病院の理念に共感でき、自分が思う理学療法士像を目指せると感じたからです。頼られる理学療法士を目指したいと思います。

理学療法士　田村　叶

患者さんが、日々の生活の中で好きなことをして、一つでも多く笑顔になれるよう、リハビリでお手伝いしていきたいと思います。よろしくお願いします。

理学療法士　桜庭夏美

私は入院されている方々の社会復帰や自宅退院に向けリハビリテーションを提供させていただきます。よろしくお願いします。

医療ソーシャルワーカー　今瑠美奈

患者さんやそのご家族一人ひとりに寄り添い、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

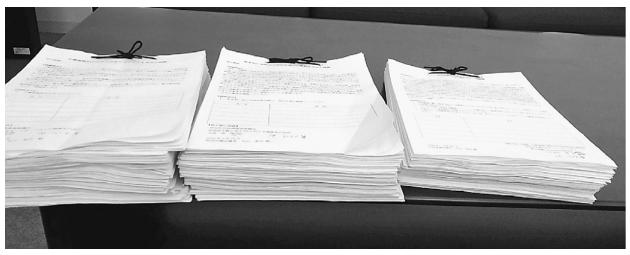
入院患者さんと一緒に近くの新宿御苑でお花見。満開の桜の下、新入職員が自己紹介。入院患者さんにも大変喜ばれました

区民要求実現を求めて渋谷社保協が請願行動

敬老祝い金、介護、保育の請願は不採択
健康保険証存続の陳情は全会一致で採択

渋谷社保協などが区議会に提出した請願では、①介護保険料の引き上げないことを求める請願②敬老祝い金の現行水準を維持すること（給付の支給対象を現行の75歳全員からいくつかの節目を迎える高齢者に限定しないこと）を求める請願③保育士の処遇改善、配置基準の見直しなどの安心・安全な保育の実現を求める請願について、３月21日の本会議の採決で、与党会派（自民、公明、笑顔、維新など）や立憲（①②に反対、③のみ賛成）などが採択に反対したため、賛成少数で不採択となりました。

一方で、土建渋谷支部が渋谷社保協と相談し提出した「マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を求める」陳情は、全会一致の賛成で採択されました。区議会として「健康保険証廃止に伴い、一定の期間は現行保険証との両立を検討することを国に求める」意見書を送付することをを決めるなど運動の成果もありました。



渋谷区議会へ提出した３つの請願署名

民医連

代々木歯科コーナー　連載

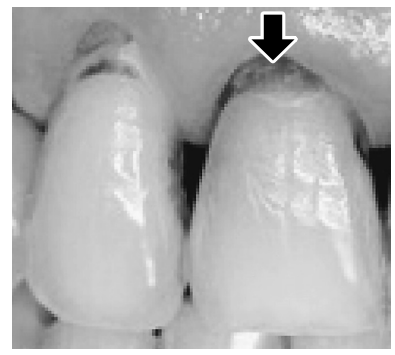
歯の根元にできるむし歯に注意しましょう

＝その118＝　歯科医師　山内真人

不適切な歯磨き方法や歯周病、加齢などにより歯ぐきが下がり歯の根元が露出することによってできるむし歯を「根面むし歯」と言います。

この根面むし歯は、高齢者に多いむし歯で、小児期のむし歯と異なり、あまり痛みがなく、進行してから判明することがあります。また、進行した根面むし歯では、歯の根元をグルッと一周するようなむし歯になり、歯がポキッと折れてしまうこともあります。

根面むし歯のリスクは30代から高まり、以降、加齢に伴って増加していきます。むし歯はむし歯菌が作り出す酸によって歯が溶けることでできますが、歯の根元は歯の表面のエナメル質に比べると酸に弱い象牙質のため、むし歯になりやすい部分です。根面むし歯から歯を守るためには軽い力で歯の根元まで丁寧に歯磨きをすることが大切です。力を入れた歯磨きは、歯ぐきが下がることの原因の一つとも考えられています。歯磨きのちから加減は重要です。短期間で歯ブラシの毛先が広がってしまう方は要注意です。フッ素配合歯磨き粉やフッ素入りの洗口剤を使用することも有効です。フッ素には溶けた歯の再石灰化を促進する、歯の質を強化するなどのむし歯を予防する働きがあります。みなさんも適切な歯磨きで根面むし歯を防ぎましょう。



出典：日本歯科保存学会編　う蝕治療ガイドライン第３版（矢印は筆者）

辺野古基地建設ＮＯ沖縄連帯集会

代執行訴訟で沖縄県の訴えを退けた最高裁へ、「司法の役割を果たす」よう求めました

辺野古新基地反対と普天間基地撤去をめざす「4.6沖縄県民大集会」に連帯する集会が国会内で４月２日に開催され、勤医会から２名が参加しました。

同集会では、沖縄県が最高裁に上告した福岡高裁が沖縄県の代わりに国が辺野古基地工事を強行するための工事変更を承認する代執行を認めた判決の取り消しを求める訴訟で、最高裁が県の上告を棄却、審議を拒否し、国に追随した不条理さを告発し、抗議するとともに新基地反対・普天間基地撤去に向けた運動を強化し、沖縄の闘いに連帯して闘っていくことを確認しました。また、最高裁に「公正・中立な立場で実質審理を要請する署名」（2592団体）を届けることにしました。集会後は、最高裁前に移動して、沖縄県民の民意である「基地建設反対」の声を無視し司法判断を回避したことへ抗議の声をあげ、三権分立に基づき「司法の役割を果たす」ように求めました。

サプリメントに頼らない生活

薬剤師　藤竿伊知郎（元外苑企画商事）

（106）紅麹サプリメントによる腎障害事件

２月22日、紅麹（べにこうじ）サプリメント３製品を回収すると小林製薬が発表してから、派手な報道が続きます。４月７日までに入院２１２人、医療機関を受診１２２４人、同社への相談件数は約５万３０００件という食中毒事件です。機能性表示食品が腎臓を害し、５人もの死者がいると報道されると不安な気持ちになるでしょう。

腎臓は老廃物を排泄する臓器。薬の副作用で、その機能が侵されることがあります。今回の被害者も、強いけん怠感やむくみ、尿の色が濃くなったり泡立つなどの症状で受診しました。

紅麹は、味噌・醤油・清酒といった醸造食品で使う「米麹」と違い、限られた伝統食品で着色と風味付けに利用されてきました。紅麹には、コレステロール生成を抑えるロバスタチン（モナコリンK）という薬物が含まれており、EUや米国ではサプリメントとしての利用を制限しています。

小林製薬はサプリメントとして２００７年から販売し、２０２１年からは悪玉コレステロールが高めの方に適する機能性表示食品として販売を強めていました。同社は食品素材として１７３社へ供給し、それを使った商品も自主回収されています。

事故を起こしたのは、濃縮した物質を毎日食べるサプリメントであり、紅麹原料が少量入った食品の利用を恐れる必要はないと考えます。

被害実態の早急な解明と、被害救済が求められています。

【対象品】

製品名	画像	JANコード
【通信　販売用】 紅麹コレステヘルプ45粒 15日分 ※何日分かをご確認ください。		4987072086421
【通信　販売用】 紅麹コレステヘルプ90粒 30日分 ※何日分かをご確認ください。		4987072086414
【店頭　販売用】 紅麹コレステヘルプ60粒 20日分 ※何日分かをご確認ください。		4987072059708

カット写真は小林製薬プレスリリースより